令和6年度 外国語科 「英語コミュニケーションⅢ」 シラバス

単位数	4 単位	学科・学年・学級	理数科 3年H組
教科書	Crossroads Ⅲ(大修館書店)	副教材等	Cutting Edge Orange(エミル出版)、システム英単語Standard(駿台文庫)

1 学習の到達目標

聞くこと: 予備知識があれば、ほぼ自然なスピードで話された、長めの対話や説明の概要・要点や話の展開・話し手の意図、詳細を捉えることができる。 読むこと: 予備知識があれば、説明・評論、物語といった様々なジャンルのまとまった量の英文を読んで、文章の展開・書き手の意図、要点・概要・詳細を捉える ことができる。

話すこと(やり取り): 社会的・広範囲な話題について、情報・考えを充分な補足説明つけて伝えたり、論理的に伝え合ったりしながら、やり取りを発展させることが できる。

話すこと(発表): 社会的・広範囲な話題について、情報・考えを充分な補足説明をつけて伝えたり、論理的に伝えたりすることができる。 書くこと: 社会的・広範囲の話題について、説明や意見などを根拠に基づいた充分な補足説明とともに論理的な文章構成で書くことができる。 (複数パラグラフに よるエッセー)

2 学習の計画

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO記述・重点目標)				領域		ě 書	評価項目	主な評価規準 (評価方法)	
	4	1 フェアトレードの観点から世界の格差、搾取、 環境破壊について理解し、考えを伝え合うことがで きる。	Unit 3 Ethical Consumption for a Sustainable World Pair/Group talk, Listening/reading and understanding the gist, details, and making inferences, Retelling	知思			0		6		
	5	2 社会全体が豊かになりうる消費生活の可能性に ついて考え、意見を交換することができる。		5 5 7	態			0		-	活動の観察 後日筆記テスト・パフォーマ ンステスト 課題
	J	1 高度なテクノロジーを活用したスマート農業に ついて理解し、考えを伝え合うことができる。 2 テクノロジーを用いた農業が私たちの生活をど	Unit 4 Saving Agriculture	Pair/Group talk, Listening/reading and understanding the gist, details, and making inferences, Presentation	知		0	()		
	6				思態		0			6	
	第 1	第1回考查					0				聞く力、読む力を評価する問題
	回考						0			4	
	查	「話すこと」日常的・社会的な話題について、情報 や考えを十分な説明と共にわかりやすく伝えること ができる。	Presentation	Group Presentation, Q&A	態知			0 0			パフォーマンステスト1
前					か思		-+	0 0	+	6	活動の観察
期					態			0 0	+	"	
	8	1 地域社会との交わりを可能にする新しい形の旅行について理解し、自分の考えを伝え合うことができる。 2 旅行の観点から地域おこしをする可能性につい	Sustainable Cities and	Pair/Group talk, Listening/reading and understanding details and paragraph organization, Writing opinions	知			0	C	6	活動の観察 後日筆記テスト・パフォーマ ンステスト
					態			0	C		
	9	て考え、意見を交換することができる。			思			0	C)	課題
		1 言語が私たちの思考やものの捉え方に影響を及 ぼすという理論について理解し、自分の考えを伝え 合うことができる。 2 母語とは異なる言語の特徴について調べ、言語 と思考の関係について意見を交換することができ	Language and Language and Language and Retelling,	Pair/Group talk, Listening/reading	知			0	C)	活動の観察 後日筆記テスト・パフォーマ ンステスト 課題
				Retelling,	態			0	C	6	
	hohe	この名の関係について息元を交換することかできる。		Debate/Discussion	思知	0		0	C)	11 天下日
	第 2	W W.					0				
	回考	第2回考查				0	0	-		4	聞く力、読む力を評価する問題
	查										

学期	月	育成する資質能力 (CAN-DO記述・重点目標)	学習項目 (教材名等)	学習内容や学習活動 (主な言語活動等)		領域 閉 読 取 発 書		評価項目数	主な評価規準 (評価方法)		
	10	心理学における「フロー」を理解することができ る。	Supplementary Reading 1 Finding Flow	Reading for the gist and details	知思態		0 0			3	活動の観察 後日筆記テスト・パフォーマ ンステスト 課題
後	11	1 元アメリカ合衆国大統領バラク・オバマが被爆地広島で行ったスピーチを理解し、この歴史的スピーチの意味について考えを伝え合うことができる。 2 平和な未来を築くためには何が必要なのか考え、意見を交換することができる。	Unit 7 How Can We Make a Peaceful World?	Pair/Group talk, Listening/reading and understanding the gist, details, paragraph organization and making inferences, Retelling		0 0 0		0		6	活動の観察 後日筆記テスト・パフォーマ
期		1 人類が持つ共感する心はどのように生まれたのかを進化論の観点から理解し、自分の考えを伝え合うことができる。 2 他者に共感できる心を育てるためには何が必要なのか考え、意見を交換することができる。	Unit 8 Empathy and Human Beings	Pair/Group talk, Listening/reading and understanding the gist, details, and making inferences, Retelling	知思態			0	0	6	ンステスト 課題
	第3回考查	第3回考査			知思態	0	0			4	聞く力、読む力を評価する問題

3 評価の観点

評価の観点	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと(発表)	書くこと
知識・技能	話や説明の概要・要点や話し手 の意図、必要な情報を目的に応 じて捉えるための知識・技能を	様々なジャンルのある程度の長 さの英文を読んで、書き手の意 図、要点・概要、必要な情報を 目的に応じて捉えるための知	話題について、情報・ 考えを多様な語句や文 を用い、充分な補足説 明をつけて伝えたり、	ついて、情報・考えを多様な語句や文を用い、充 分な補足説明をつけて伝 えたり、論理的に伝える ための知識・技能を身に	支援を与えられれば、日常 的・社会的な話題について、 説明や意見などを多様な話句 や文を用い論理的な文章構成 で複数パラグラフ書くための 知識・技能を身につけてい る。
思考・判断・表現	話や説明の概要・要点や話し手 の意図、必要な情報を目的に応	様々なジャンルのある程度の長 さの英文を読んで、書き手の意	話題について、情報・ 考えを多様な語句や文 を用い、充分な補足説	ついて、情報・考えを多様な語句や文を用い、充 分な補足説明をつけて伝 えたり、論理的に伝えて	支援を与えられれば、日常 的・社会的な話題について、 説明や意見などを多様な語句 や文を用い論理的な文章構成 で複数パラグラフ書いてい る。
主体的に学習に 取り組む態度	しながら、主体的、自律的に英	外国語の背景にある文化に対 する理解を深め、書き手に配慮 しながら、主体的、自律的に英 語で書かれていることを読もう としている。	め、聞き手に配慮しな がら、主体的、自律的	化に対する理解を深め、 相手に配慮しながら、主	対する理解を深め、読み手に

4 評価の方法

定期テスト、パフォーマンステスト、単語テスト、活動・課題への取り組み(ワークシート・課題などの提出を含む)

5 担当者からのメッセージ(確かな学力を身につけるためのアドバイス,授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

学習計画には各ユニットで重点目標とする 4 技能 5 領域を示していますが、基本的にはどのユニットでも全ての技能・領域を含む様々な活動を行います。 1 つ 1 つの活動のねらいを理解し、課題も含めて授業内外で主体的、自律的に英語学習に取り組んでください。違う文化を持つ人に対しても自分の意見を言えるような英語力・積極的な態度を身につけること目指します。英語学習を通じて、視野を広げ、人として成長していきましょう。 グローバル化の社会では英語のコミュニケーション能力が求められます。また、大学入試においても実践的な英語力が問われるので、英語の知識を獲得するのはもちろん、英語の運用能力を高めていきましょう。そのためには、英語のアウトプット(話す、書く)を意識して、インプット(聞く、読む)することが大切です。英語のまま 主理解し、英語の発想で表現できるようなるために、授業は基本的に安語で行います。わからない語や文法表現は辞書や参考書で調べたり、本文は音読して理解を確認するなど、授業の後に復習しましょう。副教材も自分の学習に計画的に組み込んで活用することをお勧めします。 辞書・タブレット端末の他に、授業で配布されるワークシートを整理するために各自でファイルを用意してください。課題も評価の対象になります。期限を守って提出してください。